

各位

2018年3月26日

株式会社アプリックス

(コード番号:3727 東証マザーズ)

米国水質協会主催の展示会「2018 WQA Convention & Exposition」に出展

～ 4月1日発売の「HARPS™(ハーパス)」など、水処理システムをIoT化する製品を展示 ～

IoT(Internet of Things)製品向けソリューションの開発を手掛ける株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役兼取締役社長:長橋賢吾、以下「アプリックス」)は、2018年3月26日(月)～29日(木)に米国コロラド州デンバーで開催される「2018 WQA Convention & Exposition」に出展し、新製品「HARPS™(ハーパス)」をはじめとする、水処理システムをIoT化する製品の展示・デモを行います。

「2018 WQA Convention & Exposition」は、水処理に関する国際的な業界団体である WQA(Water Quality Association: 米国水質協会)が主催する展示会です。アプリックスはこの展示会で、2018年4月1日発売の「HARPS」を展示するほか、各種センサーからの情報をインターネットに発信したり、電磁弁の操作を遠隔で行ったりするデモを行う予定です。

<出展について>

展示会名称:	2018 WQA Convention & Exposition
会期:	2018年3月26日(月)～29日(金)
会場:	Colorado Convention Center
公式サイト:	http://www.wqa.org/convention
アプリックスブース:	649



展示予定の「HARPS」

<展示予定の製品について>

■ HARPS

水処理システムをインターネットにつなぎ、クラウド上で管理するためのオールインワンパッケージ製品です。詳細は3月26日付プレスリリース「水処理システムをIoT化するオールインワンパッケージ「HARPS™」を4月1日に発売」及び [HARPS Web サイト](#)をご覧ください。

■ ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント

アプリックス開発の IoT モジュール、流量センサー、給水ホース用ワンタッチジョイントを一体化した製品です。浄水器の給水ホースに取り付けるだけで、フィルター交換の通知をスマホで受け取るなどの IoT 化が実現できます。詳細はアプリックス Web サイト「[ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント](#)」をご覧ください。

以上

■ 株式会社アプリックスについて

アプリックスの使命は「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人々に幸せをもたらすこと」です。携帯電話でのJava利用という新しいフロンティアを切り開いた「JBlend」に続き、開拓中の分野が、IoT(Internet of Things)です。当社ではIoTモジュール(ビーコン)、スマホアプリ、クラウドサービス等のIoTソリューションを一貫して提供することで、家電製品等のIoT化を推し進め、「モノからの通知によって人々の生活を豊かにする」というコンセプトの実現を目指しております。

アプリックスのwebsite(投資家情報等):<http://www.aplix.co.jp/>

アプリックスのテクノロジー事業:<http://business.aplix.co.jp/>

■ お問い合わせ先:

お問い合わせのページ:<http://www.aplix.co.jp/inquiry/>

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。